

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和6年 1月25日

公表:令和6年 1月25日

事業所名 子どもの広場高畑

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4		パーテーションで部屋を作り、相談室として利用しています。	学習スペースと遊ぶスペースを仕切ることが難しい為、座って静かに遊ぶことができる玩具を用意する。作業療法士による製作などを取り入れる。
	2	職員の配置数は適切である	4		非常勤職員を配置し、子ども連に目が行き届くよう配慮している。	イベントの際はより職員を増員し、安全に行うことができるよう配置する。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		4	事業所が2階にある為、補助が必要な児童に対しては保護者に許可をとって手をつないで階段の昇り降りを行っています。	靴を履く際につまむことのできる手すりなどの設置を検討する
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4		職員でミーティングをし、業務改善に努めています。	月1回常勤・非常勤職員全員で会議を行っています。情報共有、業務改善に努めています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4		保護者の意向を確認し、取り入れています。	事業所からアンケートを実施するだけでなく、保護者側から意向を伝えられるような信頼関係作り・環境作りをする。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4		ホームページで公開しています。	ホームページで公開していることを保護者に周知していく。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		4		今後第三者(コンサルタント)などに依頼し業務改善が進められるよう検討していく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4		社内研修に参加し、障がい児支援についてより深く学んでいます。	社外研修や部会など今後も積極的に参加していく。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4		本人の意思を中心とした個別支援計画ができるよう定期的にアセスメントを行い、保護者と相談しながら作成している。	相談支援員からの情報を取り入れ、職員間で情報共有しながら作成していく。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4		アセスメントツールを元に詳しく状況把握している。	必要な情報は足りているか定期的に見直ししていく。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4		楽しく過ごしやすい環境作りを目指し、興味があるようなプログラムをチームで考えています。	他事業所のプログラムなども参考にし、色々な案を取り入れていけるようにする。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4		季節に応じて毎月異なるプログラムを組んでいます。	子ども連の要望も取り入れプログラムを作成していくようにする。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4		平日は宿題を中心に、長期休暇は学習と自由時間の切り替えを中心に支援するよう工夫しています。	平日の課題を今後もう少しきめ細かく設定する必要がある。検討していく。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4		集団活動などのコミュニケーションと個別活動での楽しみを見つけられるよう工夫し、計画を作成しています。	1人1人の得意なこと、苦手なことを非常勤職員にも情報共有していく。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4		毎朝、ミーティングを行い、1日の流れや送迎内容を確認している。	ミーティング内容を非常勤職員にも共有していく。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	2	気づいたことは速やかに報告・共有している。また、次の日に改めて情報共有している。	送迎に出ている職員がいる為、次の日の朝ミーティングを行い共有している。問題点はできる限り早めに管理者に報告している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4		気づいたことはその場でメモを取り、毎日記録を記載しています。	記録の書き方や内容を定期的に打ち合わせしていくことを検討していく。
	18	定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4		6ヶ月ごとにモニタリングを行い、相談支援員と連携を取り情報共有している。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	4		子どもの状況に合わせて組み合わせ、実施しています。作業療法士が加わり、活動内容を工夫しています。	今後色々な活動をさらに組み合わせられるよう検討していく。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4		入所時から対応している職員が会議に参加しています。	今後、勉強の為に担当職員以外の職員も同席していくようにする。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4		保護者の許可を得て学校と連絡を取り合い情報共有している。送迎時、トラブル発生時は保護者に連絡を入れるなど迅速に対応しています。	定期的に学校に対して児童の様子などのアンケートを実施していく。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	4		ケース会議に参加し、情報共有し保護者を通じて主治医と連携がとれています。	子ども達から見えない場所(事務所など)に薬などを保管するよう徹底する。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		4	就学前の情報は保護者から得ている。	保育所や幼稚園との情報共有は保護者の許可を得て今後努めていきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		4	該当する児童が現在までいません。	今後、対象児童がいた場合は情報を提供していく予定。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4		社会福祉協議会の研修など積極的に参加しています。	部会などに積極的に参加をし、幅広く専門機関と連携が取れるよう努める。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		4		感染拡大中とのこともあり、活動できていない為、今後地域の行事などに参加し交流を深めることを検討していきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	3	1	人材育成部会・相談支援部会に参加している。	可能な限り、職員全員が参加できるよう検討していく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4		送迎時や連絡帳を通じて状況や課題を伝えあっています。状況に応じて電話連絡をし、その都度共通理解を促している。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	3	保護者から相談があった場合は系列のクリニックを紹介しています。対応のできる限り実施しています。	研修などに参加し、保護者に対応できるよう努める。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4		契約時に詳しく説明しています。質問があった場合はその都度対応しています。	新人職員や非常勤職員にも運営規定など細かく周知し、いつでも対応できるようにしていく。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4		保護者からの相談があれば対応しています。また、その内容を職員で共有し支援方法話し合っています。	相談支援員やスクールカウンセラーなどと連携を取り、よりよい助言や支援ができるよう努める。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		4		働いている保護者が多く、父母の会などを設ける機会が難しいが今後開催できるよう検討していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4		その時の状況や対応をきちんと説明し、理解・納得を得られるよう対応しています。	同じ繰り返しをしないよう、話し合った改善策を職員全員にきちんと情報共有する。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4		毎月スケジュールを配布し、必要があればその都度連絡事項の書類を配布しています。ホームページで活動を発信しています。	保護者にホームページで活動を公開していることを伝えます。
	35	個人情報に十分注意している	4		銀行引き書庫に個人情報を保管しています。必要な時以外は使用せず、厳重に取り扱っています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4		簡単な言葉・理解しやすい言葉を選び、正確につたえられるよう努めています。	必要場合は筆談で意思疎通を行うよう配慮する。保護者の理解を得るためにも保護者を通じて意思疎通を行うことも取り入れる。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	3		感染症のこともあり、招待等はできていないので今後検討していきます。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4		年度初めに防災マニュアルを配布しています。	変更等あればその都度改訂版を配布していく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4		避難訓練を毎月1回以上行っています。子ども達が楽しく学ぶことができるように内容を工夫しています。	今後、災害以外に防犯についても訓練を行うことを検討します。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4		社内研修や虐待防止に関するアンケートを実施しています。	児童との日頃の会話の中で何か変化はないか探ります。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4		保護者や本人とよく話し、理解・納得していただいた上で記載しています。	どのような場合に身体拘束が必要になるかなど、研修や部会で意見交換し、情報を得ていきたいと思っています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	1	契約時にアレルギーの確認をしています。同意書を提出していただき、おやつなどを提供しています。	医師の指示書があるか契約時に確認していきます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4		その都度、情報共有しヒヤリハットに記入しています。	ヒヤリハットが起きた原因や対応方法など細かく話し合っていく。